

令和9年度概算要求における宇宙関係予算

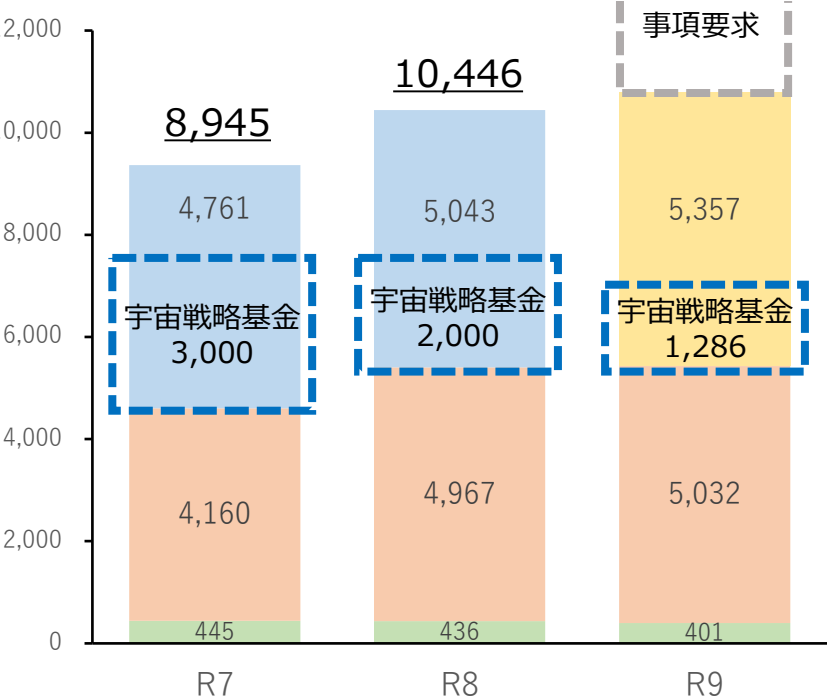
内閣府
宇宙開発戦略
推進事務局

令和9年度概算要求等 1兆 791億円（+事項要求）

うち「強く豊かな日本」投資枠 5,357億円

（令和8年度当初予算+令和7年度補正予算等 1兆 446億円）

（単位：億円）



- 補正予算（R6、7）
- 当初予算（R7、8） / 要求・要望枠要求額（R9）
- 「強く豊かな日本」投資枠
- 基金関係執行予定額

府省名	R9要求等計 (事項要求除く)	(※) 別途事項要求あり				前年度計	R7補正	R8当初	R8基金関係執行 予定額
		要求・要望枠	投資枠	R9基金関係執行 予定額	対前年度 予算比				
1. 内閣官房	1,833	617	1,216	-	+ 93%	950	328	622	-
2. 内閣府	1,123	259	863	-	+ 178%	404	190	214	-
3. 警察庁	9	9	0	-	+ 0%	9	0	9	-
4. デジタル庁	0	0	0	-	- 60%	0	0	0	-
5. 防災庁	11	9	2	-	-	-	-	-	-
6. 総務省	529	108	421	-	- 72%	1,911	1,825	87	-
7. 外務省	12	3	9	-	+ 59%	8	5	3	-
8. 文部科学省	3,949	2,076	1,674	199	+ 21%	3,252	1,555	1,518	179
9. 農林水産省	136 (※)	41	95	-	-	135	100	35	-
10. 経済産業省	1,223	2	1,018	203	+ 2%	1,196	886	53	257
11. 国土交通省	251 (※)	191	59	-	-	309	121	188	-
12. 環境省	62	62	0	-	+ 7%	58	3	55	-
13. 防衛省	1,653 (※)	1,653	0	-	-	2,213	30	2,183	-
合計	10,791	5,032	5,357	401	+ 3%	10,446	5,043	4,967	436

注1：四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。
注2：「基金関係執行予定額」として、経済安全保障重要技術育成プログラム（Kプロ）及びSBIRフェーズ3基金のうち宇宙関係のテーマを集計している。
（R8執行予定額：436億円、R9執行予定額：401億円）

主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計：1兆 791億円（+事項要求）

※ 各金額は四捨五入によって算出

【内閣官房】	1,833億円	【農林水産省】	136億円（+事項要求）
● 情報収集衛星の開発・運用	1,833億円	● スマート農業技術の開発・供給促進事業	88億円
【内閣府】	1,123億円	【経済産業省】	1,223億円
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	870億円	● 宇宙戦略基金（経済産業省計上分）	329億円
● 政府衛星等の打上げ役務の戦略的調達	178億円	● 経済安全保障に資する宇宙産業の基盤強化 （射場整備/ロケット及び人工衛星の試験施設整備）	683億円
● 衛星データ等を活用した船舶警戒監視システム実証調査	31億円	【国土交通省】	251億円（+事項要求）
● 土地等利用状況調査のための衛星画像データの収集	2億円	● 無操縦者航空機の運用等	128億円（+事項要求）
【警察庁】	9億円	● 人工衛星の測量分野への利活用	64億円（+事項要求）
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	9億円	● 次期静止気象衛星の整備	19億円（+事項要求）
【デジタル庁】	0.02億円	【環境省】	62億円
● 衛星通信設備	0.02億円	● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	46億円
【防災庁】	11億円	【防衛省】 ※令和9年度歳出予定額を記載	1,653億円（+事項要求）
● 中央防災無線網の運用等	11億円	● SDA衛星2号機の整備	事項要求
【総務省】	529億円	● 次期防衛通信衛星等の整備	10億円（+事項要求）
● 宇宙戦略基金（総務省計上分）	401億円	● 次期防衛技術実証衛星の開発	15億円（+事項要求）
● 衛星光通信用地上局ネットワーク整備事業	20億円	● 戦術AI衛星の研究	事項要求
【外務省】	12億円	● 画像解析用データの取得	304億円（+事項要求）
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3億円		
● 宇宙技術を活用したASEAN諸国・太平洋島嶼国における 沿岸災害対応力の能力構築	9億円		
※この他、無償資金協力およびJICA交付金（3,738億円）の一部にて、 グローバルサウスへの宇宙分野に関する援助を実施			
【文部科学省】	3,949億円		
● 宇宙戦略基金（文部科学省計上分）	556億円		
● 基幹ロケットの開発・高度化、打上げ高頻度化	235億円		
● 技術試験衛星9号機（ETS-9）	70億円		
● アルテミス計画に向けた研究開発等	904億円		
うち有人与圧ローバ開発等	260億円		
うち新型国際宇宙ステーション補給機（HTV-X）	478億円		
うち月面機器開発・実証	8億円		

※令和9年度執行予定額としてKプロ（文部科学省：56億円 経済産業省：171億円）
及びSBIRフェーズ3基金（文部科学省：143億円 経済産業省31億円）
の合計401億円を計上